

# TOTO ヲオシユレット 一体形便器 ZJI・ZJI施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この説明書の内容にそって正しく取り付け  
てください。

## 安全上の注意

作業を誤った場合の危害・損害の程度を次の二つに区分しています。いずれも安全に関する内容  
ですので必ず守ってください。

●表示と意味は次のようになっています。

**警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定  
される内容を示しています。

**注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内  
容、及び物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。

**水場使用禁止** **注意** **注意** **注意**

○はしてはいけない「禁止」の内容です。  
左図は、「水場使用禁止」を示します。

●は必ず実行していただく「強制」の内容です。  
左図は、「必ず守る」を示します。

### 警告

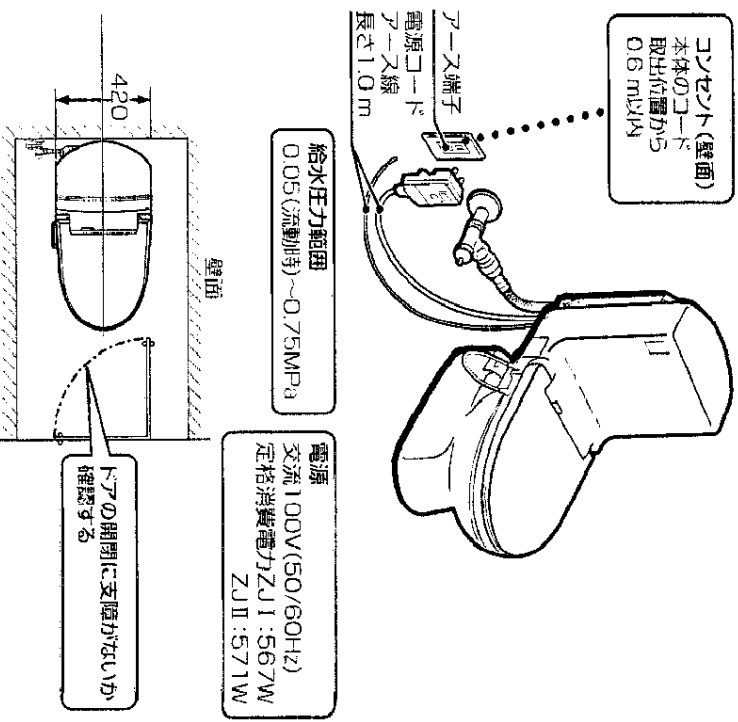
<b>水場使用禁止</b> 浴室など湿気の多い場所に設置しない 火災や感電の原因になります。	<b>フューズ接続</b> フューズ線は0種接地工事(100Ω以下)を行う 感電の原因になります。
<b>禁止</b> 中水道や工業用水の水道に接続しない 皮膚の炎症などをおこす原因になります。	<b>禁止</b> 交流100V以外では使用しない 火災や感電の原因になります。
<b>必ず守る</b> 漏電保護プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因になります。	<b>禁止</b> カタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因になります。

### 注意

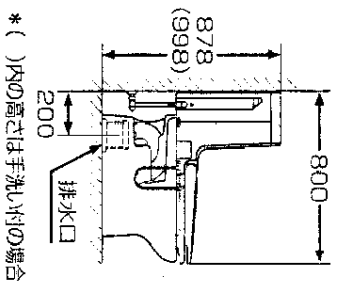
<b>必ず守る</b> ロータンクの給水量は必ず調節する ロータンクから水があふれ出し、床をぬらす原因になることがあります。 調節のしかたは、566ページ「ロータンクの止水位調節」
<b>禁止</b> 連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない 水漏れの原因になります。

## 取り付け前のご注意

- 施工方法が新しくなっています。この説明書をよくお読みください。
  - トイレ内にフューズ端子付きコンセントがない場合で、電気工事が必要なときは必ず電気工事店に依頼してください。
  - 同梱の取扱説明書・使いかた説明シートは、必ずお客様にお渡しください。
  - 取扱説明書中の保証書には、お求め店名又は工事店名、及びお取付日を必ず記入してください。
  - 工場出荷時、連結ホースには折れ曲がり防止のため保護材(ダンボール)が取り付けられています。
- 機能部本体を便器にセットするまで、保護材をはずさないでください。

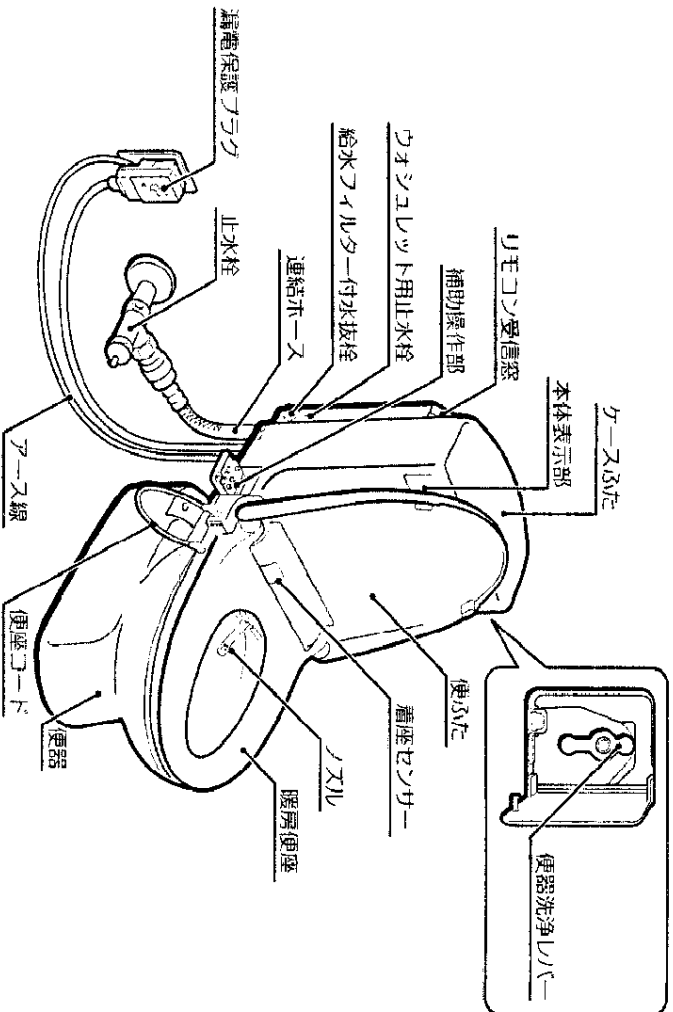


### 床排水便器の場合





# 各部のなまえ



## ▼ もくじ

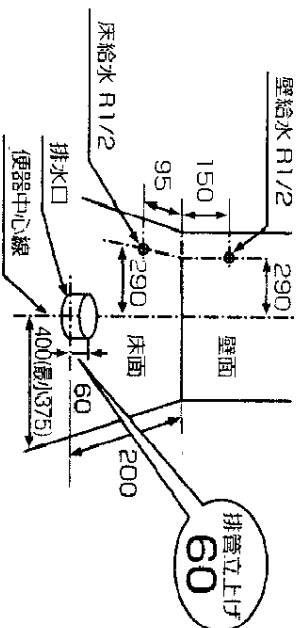
取り付けが終わるまで、製品への通電・通水はしないでください。

<b>取り付けかた</b>	給水金具と排水管の位置の決めかた	3
	止水栓(又は水抜きソケット)の取り付けかた	3
	便器部の取り付けかた	4
	機能部本体の取り付けかた	4
	連結ホースの接続	5
	リモコンの取り付けかた	6
	ロータックの止水位調節	6
	試運転	10
	給水ノールターの掃除	11
	お客様へ引き渡すとき	11
	裏面のおそれがあるとき	12

# 取り付けかた

## 給水金具と排水管の位置の決めかた

給水管を取り出し、排水管を立上げたら、ごみなどが入らないようビニールなどをかぶせておいてください。

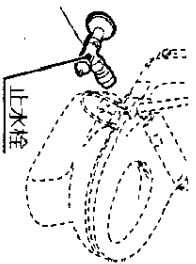


## 止水栓(又は水抜きソケット)の取り付けかた

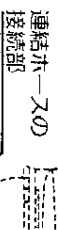
止水栓(又は水抜きソケット)を取り付ける前に、給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

同梱の止水栓(又は水抜きソケット)を必ず取り付けてください。

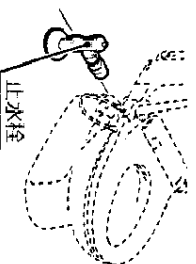
### ●壁給水



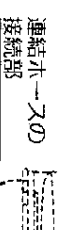
連結ホースの接続部を便器側に向けて取り付ける



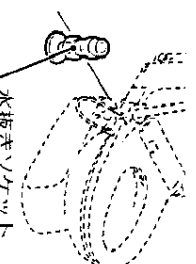
### ●床給水(一般的な場合)



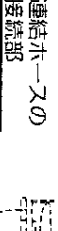
連結ホースの接続部を便器側に向けて取り付ける



### ●床給水(水抜き方式の場合)



取り付ける



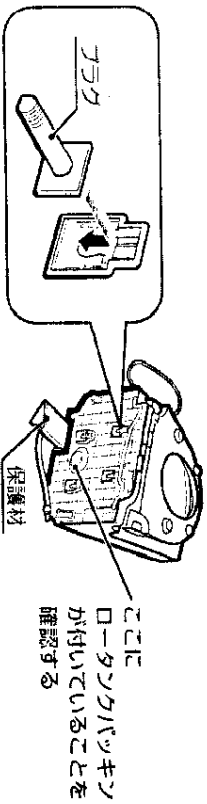
## 便器部の取り付けかた

詳しくは排水ユニット又は便器の施工説明書をご覧ください。

## 機能部本体の取り付けかた

固定カフは、工場出荷時正しい位置に適正トルクで締め付けています。取り付けの際には、ゆるめたりしないでください。

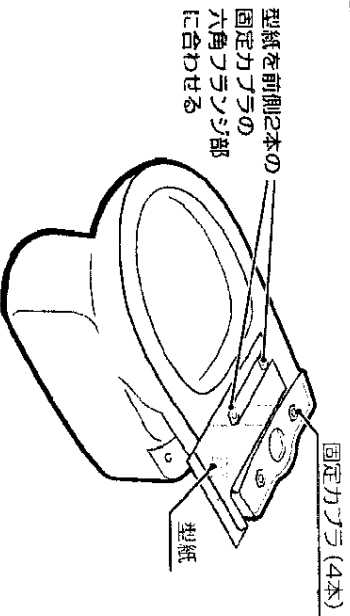
### 1. フラグ(4本)を本体底に取り付ける



#### ⚠ 注意

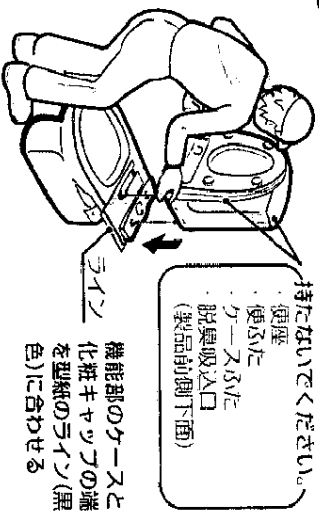
工場出荷時、連結ホースには折れ曲がり防止のため保護材(ダンボール)が取り付けられています。機能部本体を使用するまで、保護材ははずさないでください。連結ホースが折れると、水漏れの原因になります。

### 2. 型紙を置く

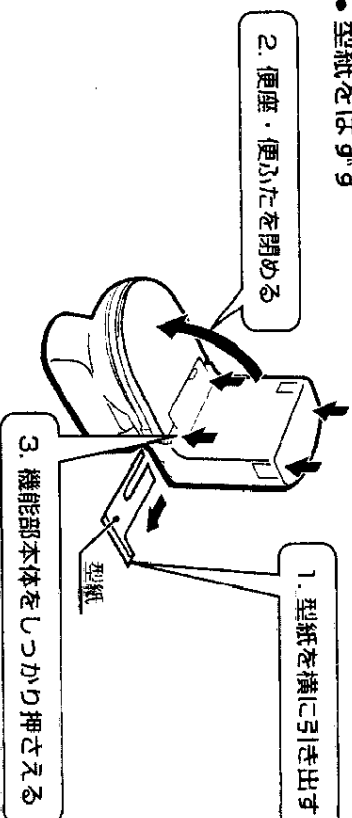


### 3. 機能部本体を取り付ける

- 機能部本体を持ち上げるときは、右記の場所は持たないでください。便座・便ふたがはずれたり、製品が破損する原因になります。



### 4. 型紙をはさず

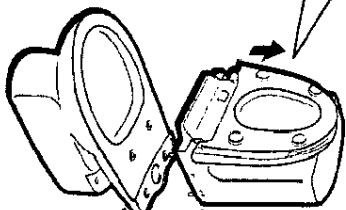


### 5. 機能部本体が固定されているか、確認する

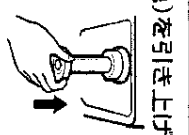
- 機能部本体を軽く持ち上げても、動きませんか？
- 動く場合は機能部本体が固定されていません。機能部本体を取りはずしたあと(5ページ参照)、1.フラグ(4本)を本体底に取り付けるへ戻りもう一度取り付けてください。

●機能部本体の取りはずしかた

2. 機能部本体を持ち上げてはまず  
 ●軽く持ちあからぬい場合は、ロツクが解除されていません。無理にはずさず、1. 固定カフラのロツクを解除する(4ヶ所)に戻つてロツクを解除し直してください。



1. 固定カフラのロツクを解除する(4ヶ所)  
 ●チャツク(黄色)をカチツと音が出るまで下げてください。



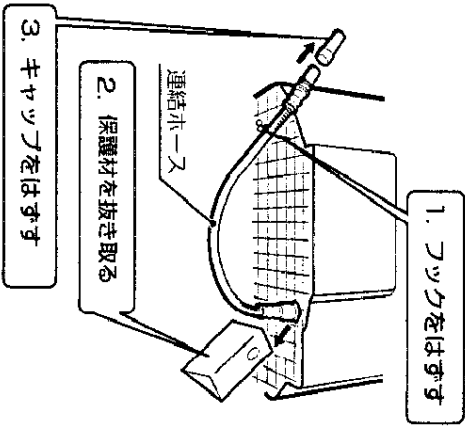
3. チャツク(黄色)を引き上げる(4ヶ所)

●機能部本体をはずしたあと、もう一度取り付けるには  
 ④Aページ「機能部本体の取り付けかた」へ戻り、機能部本体を取り付けてください。この際、必ず固定カフラのチャツクが引き上げられていることを確認してから、取り付けてください。

●連結ホースの接続

連結ホースは、あらかじめ機能部本体の後方に取り付けられています。ここでは、止水栓側(水抜き方式)のときは水抜きソケット側)を接続します。

1. 連結ホースを取りはずす

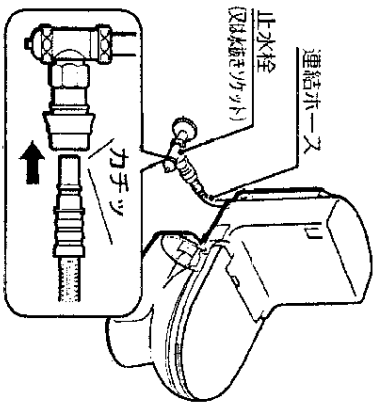


1. ソケットをはずす

2. 保護材を抜き取る

3. キャップをはずす

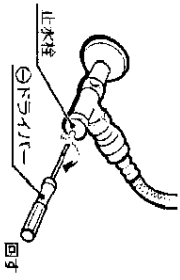
2. 止水栓(又は水抜きソケット)に接続する



⚠ 注意  
 「カチツ」に音がするまで差し込んでください。音がしない、水漏れの原因になります。差し込んだあと、ホースを引っ張って正しく差し込まれたか確認してください。

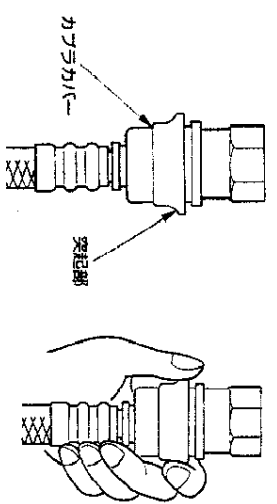
●連結ホースの取りはずしかた

1. 止水栓を閉める。
2. カフラカバーの突起部を指でつまむようにして、連結ホースを握ります。

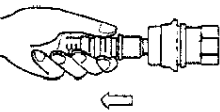
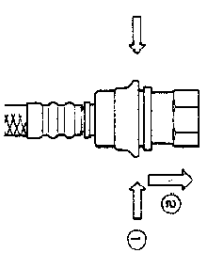


止水栓を①ドライバーで開めます。

※止水栓を開めた後、連結ホース内の圧力を抜くため、ロータンクの水を流してください。



3. 連結ホースのカフラカバーをスライドさせます。
4. 連結ホースを引き抜きます。



①カフラカバーの突起部を指でつまみながら、カフラカバーを止水栓側にスライドさせます。 ※この時、連結ホースが少し押し出されます。

連結ホースをカフラより引き抜きます。 ※この操作の際は、カフラから手を離しホース側を持ってください。

## リモコンの取り付けかた

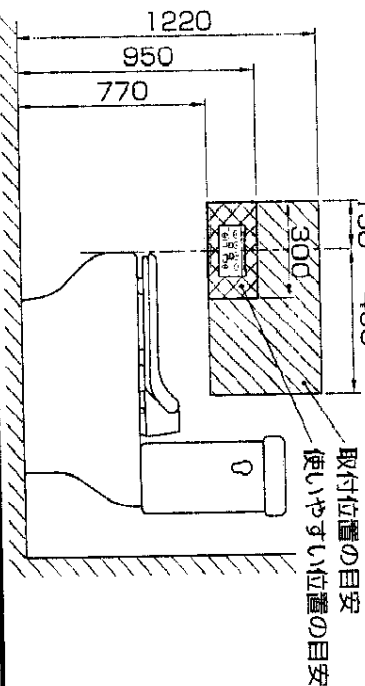
### 1. リモコンの取付位置を決める



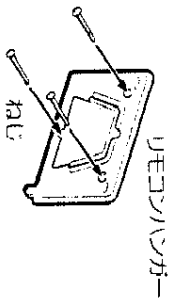
**重要**

- 取付先にあたっては取付予定位置でリモコンを操作して、おしり洗浄が働くことを確認してください。
- 5<small>φ</small>3<small>φ</small>のリモコンを併設する場合は5<small>φ</small>3<small>φ</small>のリモコンの施工説明書をご確認のうえ取付付けてください。

- ▨ ▨ ▨ のところが取付位置の目安です。
- ▨ ▨ ▨ のところが使いやすい位置の目安です。

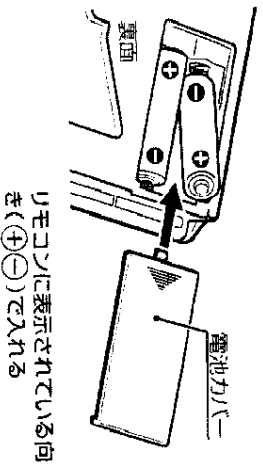


### 2. 壁に下穴をあけ、リモコンハンガーをねじで取り付ける

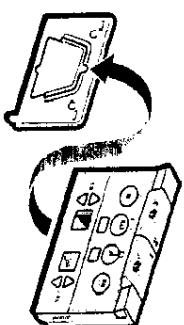


- φ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- ねじが使用できないときは、φ6・深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカーブラグを使って取り付けてください。

### 3. リモコンに電池を入れる



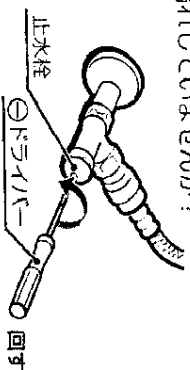
## 4. リモコンをハンガーにセットする



## ロータンクの止水位調節

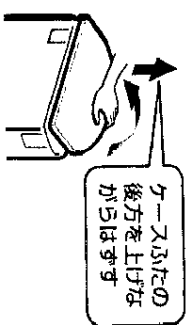
### 1. 止水栓を開ける(水抜栓のときは閉める)

- 配管及び製品から水漏れしていませんか？

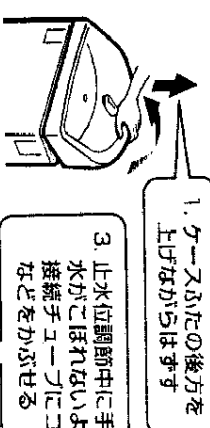


### 2. ケースふたを取りはずす

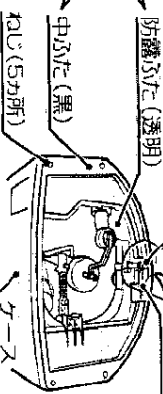
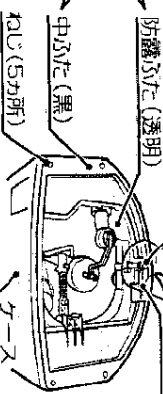
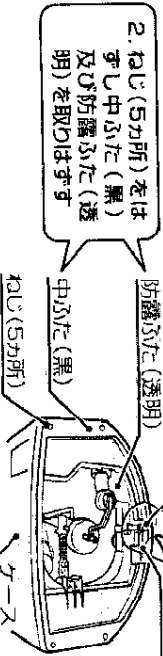
- 手洗いなしの場合



- 手洗い付の場合



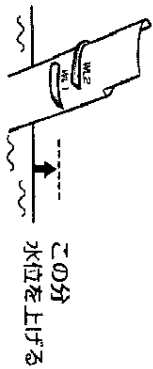
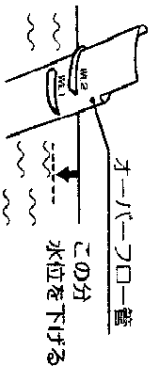
- 3. 止水位調節中に手洗い水がこぼれないように接続チューブなどをかぶせる



### 3. ロータンクの止水位をオーバーフロー管の「WL1」に合わせる 一般地用の場合

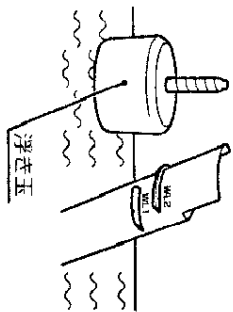
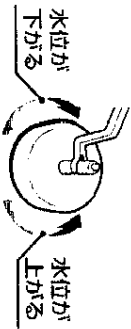
#### 水抜方式の場合

1. 止水位がオーバーフロー管の「WL1」より、上か、下かを確認する



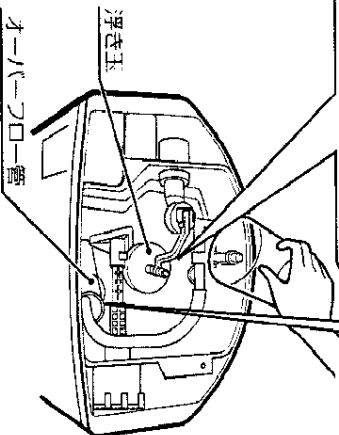
● 止水位が「WL1」より上にあるとき      ● 止水位が「WL1」より下にあるとき

2. 浮き玉を回し、オーバーフロー管の「WL1」に止水位を合わせる

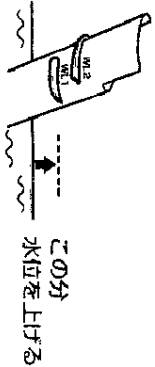
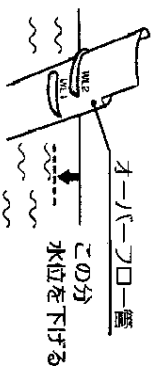


- 浮き玉の高さによって止水位を調節できます。
- 止水位は、一度便器の水を流してから、自然に止まる位置で確認してください。

**重要** 止水位は正しく合わせてください。  
正しく合っていないと、汚物がきれいに流れなかったり、便器の水が止まらなことがあります。



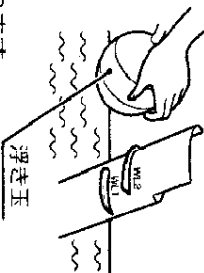
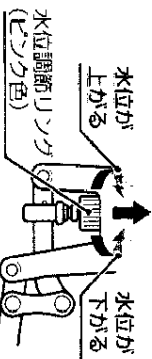
1. 止水位がオーバーフロー管の「WL1」より、上か、下かを確認する



● 止水位が「WL1」より上にあるとき      ● 止水位が「WL1」より下にあるとき

2. 水位調節リングを回し、オーバーフロー管の「WL1」に止水位を合わせる

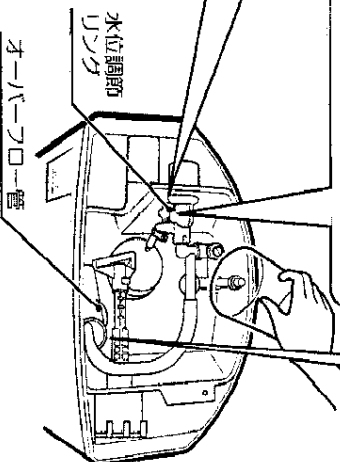
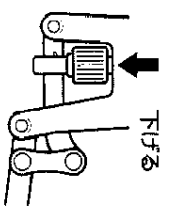
浮き玉を軽く手で押さえながら、水位調節リング(ピンク色)を上げて回す



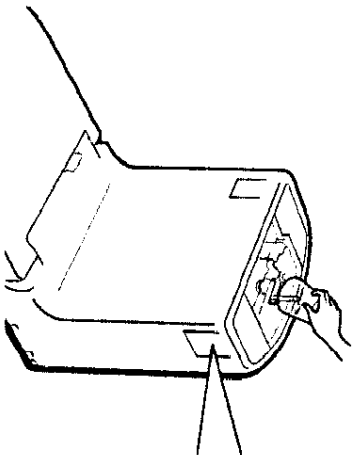
- 1/4回転回すと、水位が約8mm変わります。
- 止水位は、一度便器の水を流してから、自然に止まる位置で確認してください。

**重要** 止水位は正しく合わせてください。  
正しく合っていないと、汚物がきれいに流れなかったり、便器の水が止まらなことがあります。

3. 調節が終わったら、水位調節リングを下げてロックする



## 4. 正しく調節できたか、確認する



1. ふたを押して開ける
2. 便器洗浄レバーを手前に回して、水を流す
3. 水が止まったら、止水位が「WL1」に合っているか確認する

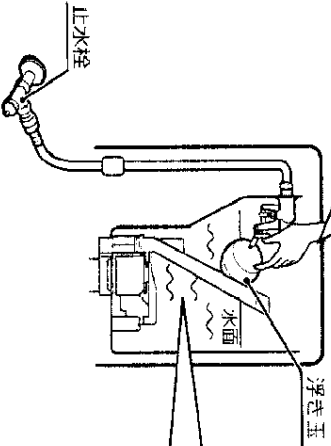
## 5. ロータックの給水量を調節する

### ⚠️ 注意

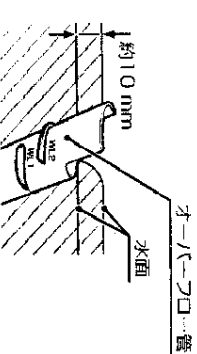
ロータックの給水量は必ず調節してください。  
ロータックから水があふれ出し、床をぬらす原因になります。

● 万一ボールタップが故障してもロータックの水が外にあふれないよう、必ず給水量を確認・調節してください。

1. 浮き玉を指先で軽く押し下げたまま、止水栓を徐々に開ける  
(水抜栓のときは徐々に閉める)



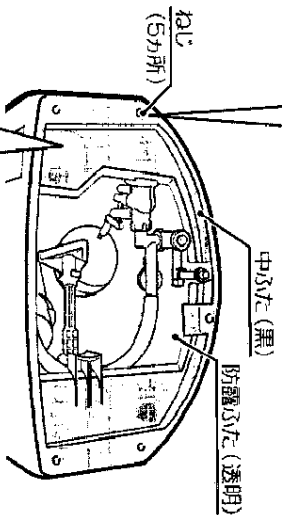
2. 止水栓を完全にし(水抜栓のときは完全に閉める)、水面がオーバーフロー管より10mm以上上昇しないことを確認する



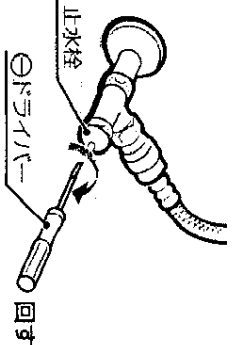
- 10mm以上上昇するときは、止水栓(又は水抜栓)で給水量を調節してください。

● 水圧が低く、給水に時間がかかる場合(水抜方式のみ)

1. ねじ(5カ所)をはずし、中ふた(黒)及び防塵ふた(透明)を取り外はす



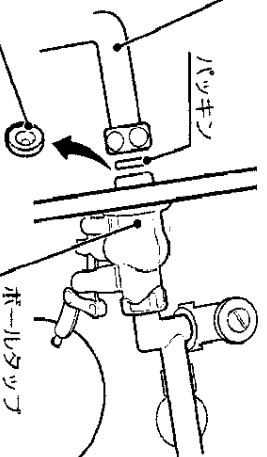
2. 止水栓を閉める(水抜栓のときは開ける)



3. 配管の水を抜く

### ⚠️ 警告

このとき取りはずした部分から、内部の電気部品に水滴がかからないように、そうせんなどで水を受けてください。水滴がかかると、火災の原因になります。



4. 減圧フツシュをはずす
5. 付属のバックシン(施工説明書に貼付)をセットし、もう一度接続する
6. 防塵ふた(透明)及び中ふた(黒)を取り付ける

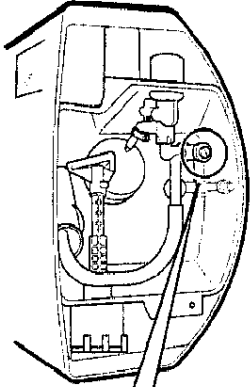
● 水圧が高く、給水音が激しい場合(水抜方式のみ)  
水圧が高いと、ロータックへの給水音が激しくなり、給水量が増えます。  
他の水栓の吐水量に支障のない程度に元栓を絞ってください。



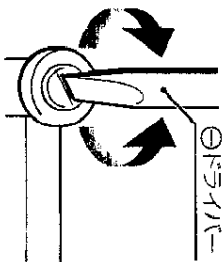
## 6. 手洗用水量を調節する(水抜方式で手洗い付の場合のみ)



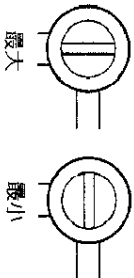
**重要** 調節中は、水を流さないでください。  
流すと本体内に水がわたり、故障や漏電の原因になります。



水量調節/リフトを調節する



• 水量は90°の範囲で調節できます。



## 7. 中ふた(黒)及び防露ふた(透明)を取り付ける

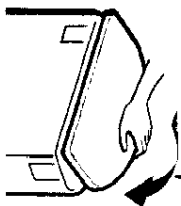
• 必ず中ふた、防露ふたを元どおりにセットしてください。

**注意** セットしないと結露してウォッシュレットが故障する原因になります。

## 8. ケースふたを取り付ける

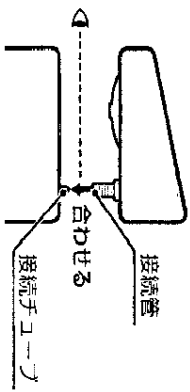
● 手洗いなしの場合

手前側を合わせケース  
ふたを下ろす

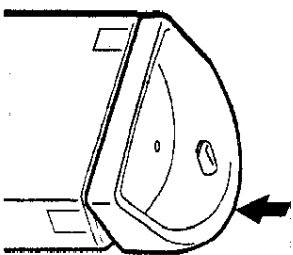


● 手洗い付の場合

1. 手洗い管のチューブに接続管を合  
せて、確実に入れる



2. 手前側を合わせ、後側を押し込む



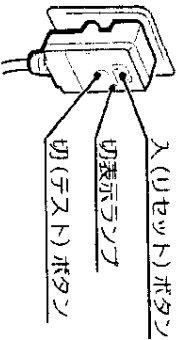
3. 正しく取り付けできたか、確認する  
• ケースふたが浮いたり、ぐらついていたりしていませんか？  
この場合は、もう一度取り付け  
てください。

## 9. 便器の水を流して、手洗用水量が適量になったか確認する(手洗い付の場合のみ)

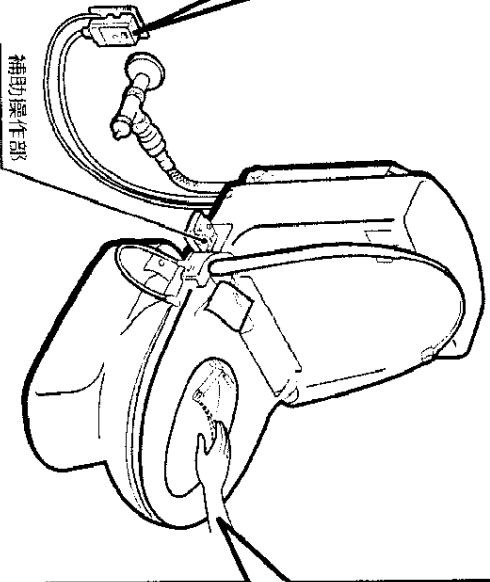
取り付けが終わったら、正しく動くか確認してください。

## 1. 漏電保護プラグを確認する

1. 漏電保護プラグをコンセント(100V, 50/60Hz)に差し込む
  - ノズルがいったん出てから戻る動作をしていますか？
2. 漏電保護プラグが正しく動くか確認する
  - 切(テスト)ボタンを押すと、切表示ランプが点灯しますか？
  - 入(リセット)ボタンを押すと、切表示ランプが消灯しますか？
3. 確認が終わったら、入(リセット)ボタンを押して、切表示ランプを消灯させる
  - ランプが点灯している
  - と、機能部本体の電源が入りません。

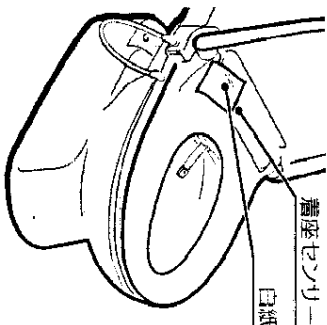
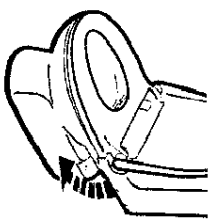


漏電保護プラグを誤って落下させてしまったとき切表示ランプが点灯することがあります。入(リセット)ボタンを押して、ランプを消灯させてください。



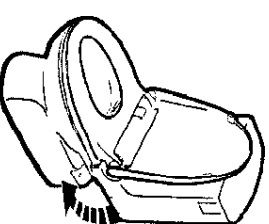
## 2. 機能が正しく動くか確認する

1. 便座を開け、着座センサーを白紙でおおう
  - 白紙でおおうと、着座センサーが検知した状態になり、スイッチを受け付けます。
2. 脱臭機能を確認する
  - 本体の右側から風が出ていますか？



3. 洗浄機能を確認する
  - 温水タンクが空のとき水が出るまで約1分かかります。
  - または を押すと、ノズルから適温のお湯が出てきますか？
  - ノズルから出たお湯は手のひらで受けてください。
  - を押すと、水勢が変化しますか？
  - 本体から水漏れしていませんか？
  - を押すと、お湯が止まりますか？
  - 水がお湯になるまで約8分かかります。
4. 室内暖房機能を確認する(ZJIIのみ)
  - 補助操作部の を「高」にしてから、リモコンの を押すと、本体の右側から温風が出ますか？
  - 室温25℃以上のときは、温風にならないことがあります。
  - 設定温度より室内温度が高くなると、温風が自動的に止まります。
  - もう一度 を押すと、約10秒後に温風が止まりますか？

5. 暖房便座機能を確認する
  - 便座があたたまっていませんか？ あたたまるまで約15分かかります。
6. 着座センサーの白紙をはがす
7. リモコンの便器洗浄機能を確認する
  - リモコンの または を押すと、便器の水が流れますか？

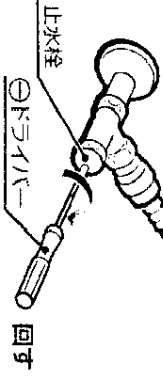


# その他

## 給水フィルター掃除

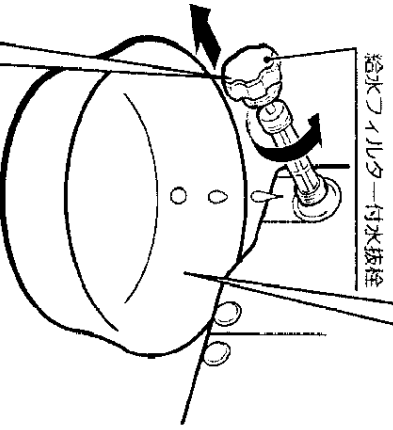
給水フィルターが詰まると、ロータンクに水が溜まる時間が長くなったり、ノズルからの水勢が弱くなったりします。次の手順で掃除してください。

### 1. 止水栓を閉める (水抜栓のときは開ける)



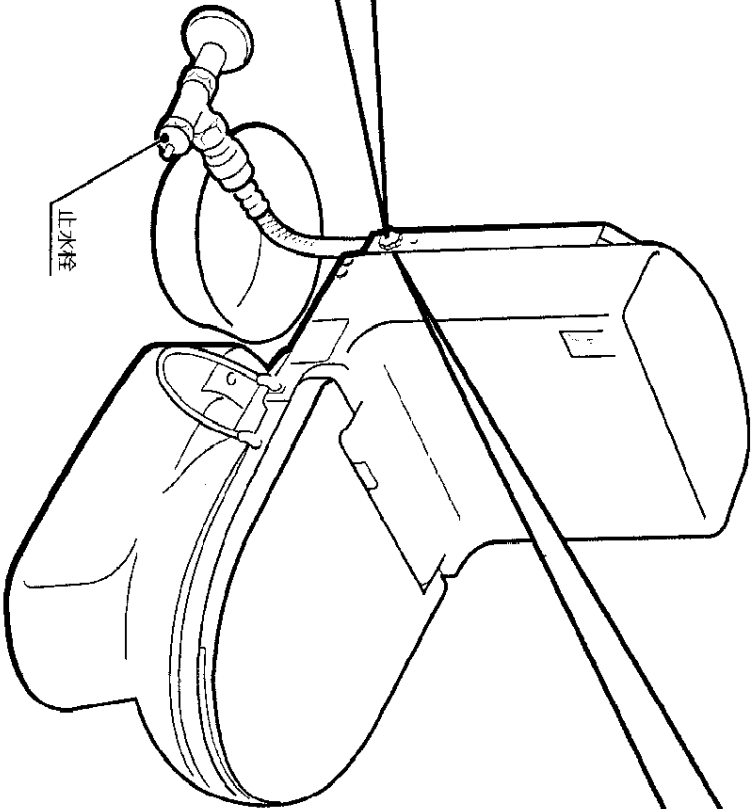
### 2. 給水フィルター付水抜栓をはずす

1. 給水フィルター付水抜栓の下に、水受けを置く(0.1L程度入るもの)



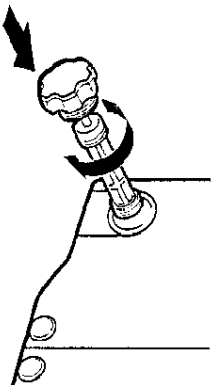
2. 給水フィルター付水抜栓がはずれるまで回したあと、引き抜く

**重要** 取り付けや取りはずしの際には、ペンチなどの工具は使用しないでください。故障の原因になります。



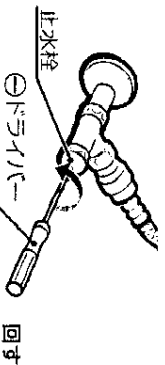
### 4. 給水フィルター付水抜栓を取り付ける

給水フィルター付水抜栓を押し込み、手で右へ回して止まるまで締め付ける



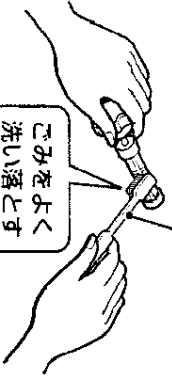
### 5. 止水栓を開く (水抜栓のときは閉じる)

- 給水フィルター付水抜栓部から水漏れしていませんか？



### 3. 掃除する

歯ブラシなど



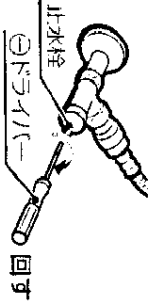
### お客様へ引き渡すとき

- 取扱説明書の裏表紙の保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。
- 製品の機能・使いかたについてお客様に説明してください。
- 新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、漏れ保護プラグを抜いておいてください。

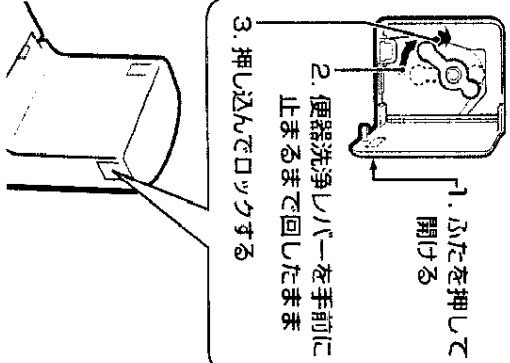
## 凍結のおそれがあるとき

お客様に引き渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、凍結による漏水事故防止のため次の要領で水抜きしてください。

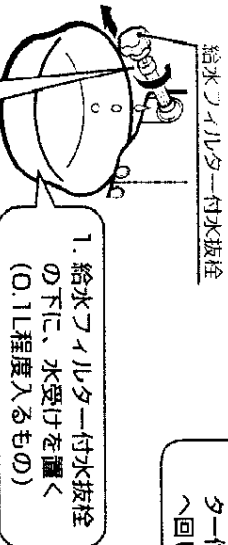
### 1. 止水栓を開める (水抜き栓のときは開ける)



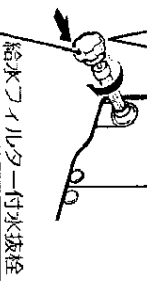
### 2. ロータンクの水を抜く



### 3. 配管の水を抜く



3. 水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜き栓を押し込み、手で右へ回して止まるまで締め付ける

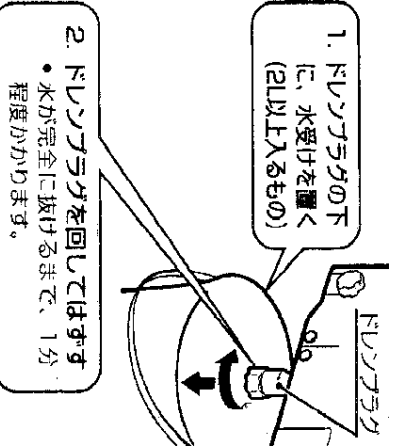


**重要** 取り付けや取りはずしの際には、ペンチなどの工具は使用しないでください。故障の原因になります。

### 4. 連結ホース内の水を抜く

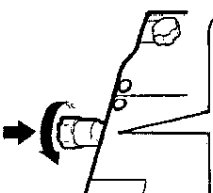
- 止水栓側の連結ホースをはずし、ホース内の水を抜いてください。
- ホース内の水が完全に抜けたら、もう一度接続してください。
- 連結ホースの取りはずしは、接続のしかたは、P.5 ページ

### 5. ウォッシュレット内の水を抜く

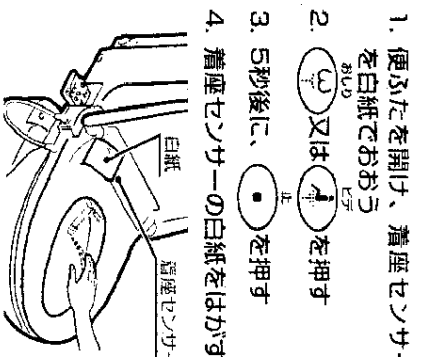


**重要** 取り付けや取りはずしの際には、ペンチなどの工具は使用しないでください。水漏れの原因になります。

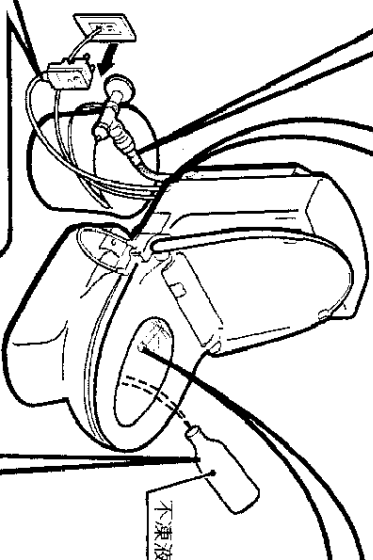
3. 水抜きが終わったら、ドリソフマガを元の位置に戻し、確実に締め付ける



### 6. ノズル内の水を抜く



### 7. 漏電保護プラグを抜く



### 8. 便器の溜水を処置する

- 便器の溜水が凍らないよう、不凍液を入れるなどの処置をしてください。